



ユニオンニュース・掲示回覧用

私たちの地域合同〔第5回〕

竹田さんたちが港地協に加盟した途端に会社は倒産廃業すると言い出しました。

組合を潰すために会社まで潰す。偽装倒産です。

会社が考えられないような手段に出てきた背景には当時の南大阪労働運動の高揚があります。全金田中機械を中心として地域の労働者の強い連帯のもと、資本と激しく対立し多くの成果を勝ちとっていたのです。

会社が経営を放棄する中、竹田さんたちは港相互タクシーに泊まり込み、営業を続けます。一方組合員は会社の懐柔や、闘争嫌悪から退職するものが続き、8名まで減りました。さらに、会社は退職金の対物弁済と称して20台中15台のタクシーを退職者へ譲渡したのです。1971年1月27日夕刻、社長及び全自交役員立ち会いのもと10数名の退職者がタクシーを奪いに来ました。

いち早く察知した港地協の仲間が駆けつけ、3台を奪われたものの撃退することに成功しました。(つづく)

連合大阪地方ユニオン 大阪地域合同労働組合 ユニオンニュース No.35 2017年6月号

共謀罪(テロ等準備罪)は問題あり

「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律等の一部を改正する法律案」が成立しようとしている。これまでの審議の中で明らかとなった問題点をまとめた。

「組織的犯罪集団」って何?

対象となる「組織的犯罪集団」とは何か。政府によれば「そもそも犯罪を犯すことを目的としている」(安倍首相)はずだが、「団体の目的が一変したと認められる場合は組織的犯罪集団に当たり得る」(法務省)らしい。誰が「一変したと認めるのか」といえば捜査機関であり、「一変」したかどうかを調べるためには「一変」する前から、あらかじめ調査しておかなければわからない。

「合意」が罪? 「準備」が罪?

「犯罪の実行に合意」し「準備行為」をしたときに適用される。では「合意」とは何か。「SNSもありうる」(金田法相)ということなので、LINEの既読スルーも「黙示の共謀」となる。もちろん、Face-

bookのいいね!、Twitterのリツイートも合意となる。実行することに合意したメンバーの誰かひとりが「準備行為」をした場合、合意したメンバーは「テロ等準備罪」にあたる。「準備行為」にはATMの出金や現場の下見が含まれるが、何が「準備行為」なのかは捜査当局の判断による。

「組織的な威力業務妨害」が対象に含まれる

組織的な威力業務妨害は労働組合が潜在的に狙われている罪名だ。ビラ配りや座り込みなどの抗議行動も「正当な争議行動」として認められない場合はこの罪に問われる可能性がある。準備の段階で「テロ等準備罪」に問われるとすれば、実際に不起訴になっても捜査を受けることになり、労組の活動は萎縮せざるをえない。

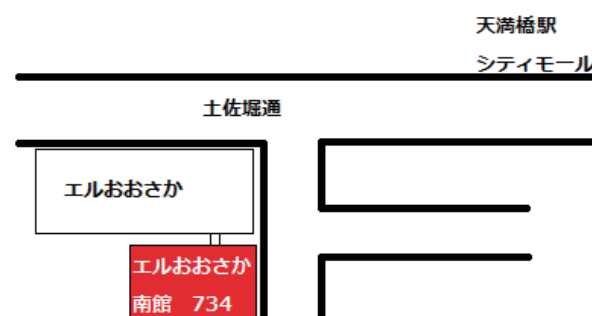
これ以外にも多くの問題がある共謀罪法案である。例え成立するとしても、国会審議の記録は実際の法律の運用に関わってくる。注視しなければならない。

2017年度 大阪地域合同労働組合定期大会

6月22日(木) 18:30～
エルおおさか南館7階 734号室

今年度の活動・決算報告だけでなく、来年度の活動方針、執行役員を決定する大切な大会です。代議員はもちろんたくさんの組合員の参加で団結と連帯を確認しましょう。

なお本年度は会場がエルおおさかの南側、エルおおさか南館になっています。(右地図参照)お間違えなきよう、お願いします。



大阪地域合同労働組合のホームページができました

遅ればせながら、大阪地域合同労働組合のホームページが公開されました。

<http://www.osaka-chiikigodo.org/>
できたばかりでまだまだですが、これから内容を充実させていきますので、ご期待ください。

内容についてのご意見・ご感想は「お問い合わせ」のページからどうぞ。



組合員プレゼント

劇団のご厚意で7月1日2日の演劇公演の招待券を5枚頂きました。詳細は上記の大阪地域合同ホームページを御覧の上、ご応募ください。